

文部大臣 谷 垣 専 一 殿

日本学術会議会長代理 名 取 礼 二

昭和56年度科学研究振興に必要な予算について(申入れ)

様記について、本会議第546回運営審議会の議決に基づき、下記のとおり申し入れます。

記

本会議は、従来から政府に対し科学研究の振興に関して勧告を行っているが、なかでも、科学研究振興のための国家予算の一層の拡充とその体系の整備の緊要性について力説してきた。また、文部省所管の科学研究振興費、特に科学研究費補助金は、我が国の学問、とりわけ基礎科学の発展に果たしている役割並びに科学者の同補助金に対する期待が極めて大きいものであるところにかんがみ、その大幅な増額を毎年強く要望してきたところである。

これに対し、貴省はじめ関係方面の配慮により、科学研究振興に必要な経費は着々と増額をみ、科学研究費補助金総額は、昭和55年度において325億円に達している。それにもかかわらず、この予算総額は当該年度の申請総額1,124億円からみても、なお極めて不十分である。殊に、関係者の多大の努力により過去10年来毎年10～20%台を維持してきた科学研究費補助金の対前年度伸率が、緊縮財政下とはいえ、昭和55年度に至り6%台に落ち込んだことは、我が国の科学研究にとって誠に憂慮すべきことといわざるを得ない。

我が国は産業・経済・社会・文化の各般にわたって今や大きな転換期を迎えており、独創的かつ先見性のある科学技術の研究開発を推進することが焦眉の急となっている。このような独創の芽を育てる基礎としての基礎的研究の果たす役割の重要性にかんがみ、その助成を目的とする科学研究費補助金の大幅な増額を切望するものである。

本会議は、昭和56年度においては、総額並びに研究種目の区分を下表のとおりとすることを適当と認めたので、その実現を強く要望するとともに、人文、社会、自然の各分野を通じ、科学研究の調和ある発展のため、これを有効適切に使用方法についても更に配慮を加えられるよう要望する。

(単位：億円)

科学研究費補助金の研究種目名					申入額
科	学	研	究	費	749
	特	定	研	究(A)	52
	特	定	研	究(B)	55
	総	合	研	究	63
	一	般	研	究	439
	奨	励	研	究	51
	試	験	研	究	77
	海	外	学	術	調
	特	別	研	究	促
	研	究	成	果	刊
				行	費
	合		計		767

(参考)

昭和56年度科学研究振興に必要な予算について

(金額単位：百万円)

区分	昭和54年度			昭和55年度			昭和56年度	積算基礎		
	申請額	申入額	予算額	申請額	申入額	予算額		昭和55年度申請額	昭和51～55年の大都市平均消費物価指数「総合」平均値	配分予定額 申請研究採択の申請研究経費
特定研究(A)	8436	3400	3270	15143	3800	4670	5200	※4670	× 1.112	5193
特定研究(B)	9075	6300	4270	7823	6400	4270	5500	7823	× 1.112	5480
総合研究	9395	4300	2530	9060	5700	2580	6300	9060	× 1.112	6347
一般研究	63844	35400	12690	62714	38400	13190	43900	62714	× 1.112	43934
奨励研究	6543	2100	2080	7358	4600	2080	5100	7358	× 1.112	5154
試験研究	12180	6400	2360	12801	7300	2405	7700	12801	× 1.112	7686
海外学術調査	1783	1000	800	2033	1100	798	1200	2033	× 1.112	1220
特別研究促進費	—	—	1800	—	—	1800				
小計	111256	58900	29800	116932	67300	31793	74900			
研究成果刊行費	1190	1800	700	1540	1800	707	1800		昭和55年度申入額に同じ。	
合計	112446	60700	30500	118472	69100	32500	76700			

(注) 本表「積算基礎—昭和55年度申請額」欄の※印は昭和55年度予算額である。